

〈 ねらい 〉

3年生の理科では、比較しながら調べる活動を通して、自然の事象の似ているところや違うところに疑問をもち、問題を解決する力の育成が求められています。そのため、様々な生き物の観察を行い、成長の仕方や特徴を考える活動を行います。それらの活動において ICT 機器を活用することで、自然の事象の違うところを比較し、調べる活動をより分かりやすく行うことができ、問題解決の力をより高めることができると思えました。

〈 活動の様子 〉

7月に行った「植物の育ち方」の単元では、学年花壇で育てているヒマワリとホウセンカの成長段階の違う写真を正しく並べ替える活動を通して、それぞれの植物の育ち方について考えました。プロジェクターを用いて、写真を大きく表示しただけでなく、子どもたちの発言に応じて、写真を拡大したり、並べて表示したりすることで、植物の種類による違いや、成長による違いを子どもたちに気付かせることができました。

写真から分かったことと既習の知識を合わせて、子どもたちは写真を植物ごとに分類し、成長の順に並べることができました。

また、友達と考えを伝え合う場面では、葉の様子や植物の高さなどの特徴を根拠に自分の考えを友達に説明する姿が見られました。

後期は、問題解決の力を理科だけでなく様々な場面で高めることができるように、子どもたちがタブレットを用いて情報を調べたり、伝え合ったりする活動を行っていきたいと考えています。

**【写真を並べて写している様子】****【友達と考えを伝え合っている様子】**